

課題解決検討会議まとめ

1. 事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。

はい	0
どちらともいえない	5
いいえ	1
分からない	0

[意見]

- ・玄関にはスロープ等があるが、段差のある所も多い。
- ・ハローハロー用の車いすがないので一つあった方がいい。
- ・段差が気になる。

【検討結果】

- ・スロープや手すりがあり、バリアフリーの配慮はされているが、段差が大きい。借りているところなので仕方がない。
- ・今後、玄関の階段、スロープの改修が予定されている。

2. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。

はい	0
どちらともいえない	1
いいえ	2
分からない	3

[意見]

- ・まだ外部評価を行っていない。
- ・3年前に「外部評価は今のところ行っていない。」と聞いたので、現在も行っていないかなと思い「いいえ」にした。

【検討結果】

- ・現在、外部評価は行っていないが、サービスの質の向上・改善のために行うことはとても良いと思う。
- ・第三者評価の流れを確認。

第三者評価とは…提供されている「福祉サービスの質」に焦点を当て、主に福祉サービスの提供体制とその取組について評価を行うこと。

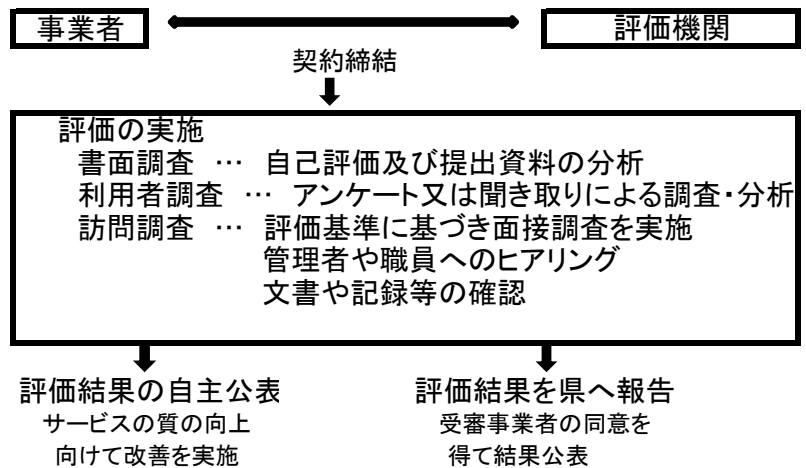
誰が評価を行うのか…それぞれの専門分野で一定の経験や資格を有し、且つ評価調査養成研修を修了した者が調査者となる。
2名以上でチームを作り一貫して評価にあたる。

行政監査…法令が定める最低基準を満たしているかを定期的に確認するもの。

違う目的

第三者評価…サービスの質に着目し、福祉サービスの水準が現在どのレベルにあるか、また改善すべき点はどこかを明らかにすることにより、福祉サービスの質の向上

[第三者評価の主な流れ]



※定期的に評価を実施

※受審は任意だが、サービス事業者には自己評価の実施等の責任があり、積極的な受審が望まれる。

3・放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいの無い子どもと活動する機会があるか

はい	1
どちらともいえない	1
いいえ	4
分からない	1

【意見】

- ・交流の機会がないのは、現実である。最近では、コロナ禍で、高齢者との交流も少ない。
- ・交流を持つことで、思いやりや感謝等、人として大切なことをお互い伝え合うことができたらと思うが、なかなか難しいと思う。今年度は、コロナ拡大防止のため交流ができなかった。
- ・毎年高齢者との交流は持っていたが、今年はコロナでなしになった。
- ・交流を持つことはできなかった。

【検討結果】

- ・児童クラブ等との交流は大切なこともあるだろうが、今のところ難しいようだ。
- ・少しずつできるように検討することも必要だろう。
- ・平日は難しいと思うが、長期休暇は一緒に活動することはできそうだが、障害に関してどれほど理解ができるのかを考えると、難しい。

